

## C-1 道路・交通網の整備

### 1 施策の目的（どのようなまちを目指すか？）

市民の日常生活と経済活動を支える安全で便利な道路・交通網が整備されたまちを実現します。そのため、計画的な道路整備と適切な維持管理により、安全性と利便性を兼ね備えたインフラを構築し、市民の移動ニーズに対応します。また、公共交通の充実と持続可能な地域交通システムの確立により、高齢者や交通弱者も含めたすべての市民が安心して移動できる環境を整備し、さらに地域の活力向上と定住促進を図ります。

### 2 現状と課題（どのような状態か？）

現状	課題
道路インフラの老朽化と安全性確保への要請	計画的な道路整備と適切な維持管理により、安全で快適な道路環境の確保と長寿命化による効率的なインフラマネジメントの推進が必要です。
人口減少・高齢化による交通弱者の増加	持続可能な公共交通システムの構築と多様な移動手段の確保により、すべての市民が安心して移動できる地域交通網の整備が必要です。

### 3 基本事業（課題を解決するために何に取り組むか？）

基本事業	取り組み内容	期待される効果
安全・便利なインフラづくり	道路整備・改良推進、橋梁・トンネル長寿命化、交通安全施設整備、適切な維持管理実施	道路安全性向上、利便性確保、インフラ長寿命化、維持管理効率化
持続可能な地域交通	公共交通維持・充実、デマンド交通導入検討、交通結節点整備、移動支援サービス拡充	移動手段確保、交通弱者支援、地域連携促進、定住環境向上

## 4 目指すSDGsのゴール

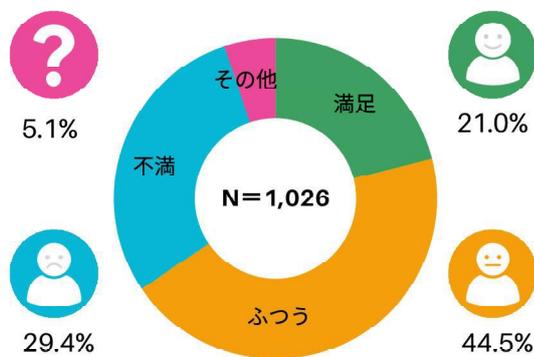


## 5 関連する個別計画

個別計画名	個別計画の内容	計画期間
曾於市地域公共交通計画	地域公共交通活性化再生法に基づき、路線バスなど公共交通の維持・改善や利用促進策を検討し、持続可能な交通網を構築する5か年計画	2023～2027
曾於市公共施設等総合管理計画	市が保有する公共施設・インフラの老朽化と財政制約を踏まえ、統廃合や長寿命化を計画的に進め、将来にわたる持続可能な管理を目指す	2017～2026
曾於市道路トンネル個別施設計画	道路トンネルの老朽化対策を推進し、計画的な点検・補修や更新を行うことで安全な交通インフラを確保するための個別施設計画で、長寿命化を目指す	

### 市民意識調査結果 (2024)

暮らしている地域の公共施設や道路は使い勝手が良く便利であるか？  
【問15-26満足度】



[都城志布志道路ウォーキング大会の様子]



## C-2 上下水道の安定供給

### 1 施策の目的（どのようなまちを目指すか？）

市民が安全で安心な水を安定的に利用でき、快適な生活環境が確保されたまちを実現します。そのため、水質管理の徹底と配水システムの充実により、良質な水道水の安定供給を図り、市民の健康と生活の質の向上を支えます。また、老朽化施設の計画的な更新と効率的な維持管理により、持続可能な上下水道システムを構築し、さらに災害時においても安定したライフラインを確保します。

### 2 現状と課題（どのような状態か？）

現状	課題
水質安全性への市民ニーズの高まり	水質管理体制の強化と配水システムの充実により、安全で良質な水道水の安定供給と市民の健康・衛生環境の向上が必要です。
上下水道施設の老朽化進行	老朽施設の計画的な更新と予防保全型維持管理の推進により、持続可能で効率的な上下水道システムの確立と安定供給の継続が必要です。

### 3 基本事業（課題を解決するために何に取り組むか？）

基本事業	取り組み内容	期待される効果
安全で安心な水の品質確保と衛生環境の向上	水質検査体制強化、施設更新の適正化、衛生管理徹底	水質安全性確保、施設耐震性の向上、衛生環境改善、市民安心向上
老朽施設の更新と持続可能な維持管理	施設更新計画策定・実施、予防保全型維持管理、効率的運営体制構築、災害対策強化	施設機能維持、維持管理効率化、運営コスト削減、災害対応力強化

## 4 目指すSDGsのゴール



## 5 関連する個別計画

個別計画名	個別計画の内容	計画期間
曾於市公共施設等総合管理計画	市が保有する公共施設・インフラの老朽化と財政制約を踏まえ、統廃合や長寿命化を計画的に進め、将来にわたる持続可能な管理を目指す	2017～2026
曾於市下水道事業経営戦略	人口減少や施設老朽化に対応し、公衆衛生や水質保全を目的とした下水道事業を安定的に継続するための中長期経営計画で、財政運営と施設更新の見通しを示す	2025～2034
曾於市水道ビジョン	安全で安心な水を安定供給し、老朽化施設の更新や広域連携を進めるための水道事業の将来像と具体的施策を示す指針で、持続可能な経営を目指す	

[上鶴橋]



## C-3 住環境の向上

### 1 施策の目的（どのようなまちを目指すか？）

市民が安全で快適な住環境で暮らし、まちとして選ばれ続ける魅力的な地域を実現します。そのため、良質な住宅の供給促進と住宅確保支援により、多様なライフスタイルに対応した住環境の提供を図ります。また、増加する空き家の有効活用と適正管理により、住環境の悪化を防止し、さらに美しい景観の保全と創出により、住みたい・訪れたいと思われる魅力的なまちづくりを推進します。

### 2 現状と課題（どのような状態か？）

現状	課題
多様化する住宅ニーズと住宅確保への要請	良質で多様な住宅の供給促進と住宅確保支援の充実により、市民の多様なライフスタイルに対応した住環境の整備が必要です。
空き家の増加と管理不全問題の顕在化	空き家の有効活用促進と適正管理の推進により、住環境の悪化防止と地域資源としての空き家の活用促進が必要です。空き家の有効活用促進と適正管理の推進により、住環境の悪化防止と地域資源としての空き家の活用促進が必要です。また空き家問題の解決や移住者の定着に向け、農業分野との連携として、農業初期投資支援や生活が安定するまでの支援についても検討が必要です。
良好な景観形成への関心とまちの魅力向上への期待	美しい景観の保全・創出と魅力的なまちづくりの推進により、市民の誇りと愛着の醸成、移住・定住促進を図ることが必要です。

### 3 基本事業（課題を解決するために何に取り組むか？）

基本事業	取り組み内容	期待される効果
良質な住宅の確保	住宅供給促進、住宅確保支援、住宅改修補助、住宅相談体制充実	住宅供給促進、住環境向上、住宅確保支援、定住促進
空き家の利活用と適正管理の推進	空き家実態調査、利活用促進支援、適正管理指導、空き家バンク運営	空き家有効活用、住環境向上、管理不全解消、移住定住促進
まちとして選ばれる景観づくり	景観計画策定・推進、美化活動支援、緑化推進、魅力的まちづくり推進	景観保全・向上、まちの魅力向上、愛着醸成、観光資源創出

## 4 目指すSDGsのゴール



## 5 関連する個別計画

個別計画名	個別計画の内容	計画期間
鹿児島県地域住宅計画	住宅の質と供給量を確保し、住まいの安全・安心やまちづくりと連携した住宅施策を県内で総合的に推進する計画で、耐震・バリアフリー化も推進	
曾於市空家等対策計画	管理不全な空き家が増える中、適正管理の促進や活用支援を通じて住環境や景観の保全、安全の確保、地域活性化を目指す計画	2022～2026
曾於市建築物耐震改修促進計画	耐震改修促進法に基づき、旧耐震基準の住宅や多数利用建築物の耐震診断と改修を計画的に進め、地震による被害軽減を図る。熊本地震の教訓を反映	
曾於市公営住宅等長寿命化計画	公営住宅等の予防保全や計画的な改修を行い、多様化するニーズに対応しながら安全で快適な住宅供給を長期に継続するためのストック計画	2023～2032
曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略	人口減少対策や地域経済の活性化、子育て・働き方改革、移住定住促進など多分野の施策を総合的に実施し、まち・ひと・しごとの好循環を創出する戦略	(2026～2030)



[上空から見たさくら並木ニュータウン]

# C-4 防災・防犯体制の強化

## 1 施策の目的（どのようなまちを目指すか？）

市民が災害や犯罪の脅威から守られ、安全で安心して暮らすことができるまちを実現します。そのため、地域住民と行政が連携した防災体制を構築し、災害時における迅速で的確な対応能力を向上させます。また、防災インフラの整備と防災意識の向上により、災害に強い地域づくりを推進し、さらに地域ぐるみの防犯活動と安全環境の整備により、犯罪のない安心して暮らせる地域社会を構築します。

## 2 現状と課題（どのような状態か？）

現状	課題
自然災害リスクの多様化と防災意識向上への要請	地域防災力の強化と市民の防災意識向上により、災害時における被害最小化と迅速な復旧・復興体制の構築が必要です。
犯罪形態の多様化と地域安全への関心拡大	地域防犯体制の強化と安全環境の整備により、犯罪抑制と市民の安全・安心感の向上を図ることが必要です。

## 3 基本事業（課題を解決するために何に取り組むか？）

基本事業	取り組み内容	期待される効果
災害に強い地域の人・体制づくり	防災組織育成支援、防災訓練実施、防災教育推進、災害対応体制強化	地域防災力向上、防災意識醸成、災害対応能力向上、被害軽減
地域の防災・安全環境の整備と防犯意識の醸成	防災インフラ整備、防犯設備整備、地域防犯活動支援、安全意識啓発	防災機能強化、防犯環境改善、地域安全活動活性化、安心感向上

## 4 目指すSDGsのゴール

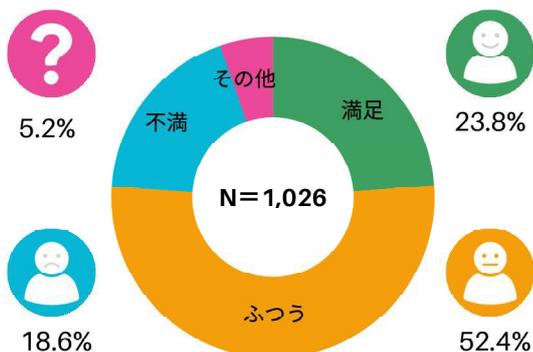


## 5 関連する個別計画

個別計画名	個別計画の内容	計画期間
曾於市建築物耐震改修促進計画	耐震改修促進法に基づき、旧耐震基準の住宅や多数利用建築物の耐震診断と改修を計画的に進め、地震による被害軽減を図る。熊本地震の教訓を反映	
曾於市国土強靱化地域計画	大規模災害に備え、致命的な被害を受けず速やかに回復できる強さとしなやかさを備えた地域づくりを推進する計画。防災・減災の対策を体系化する	
曾於市地域防災計画	災害対策基本法に基づき、地震・風水害などの災害対策や避難、応急対応、復旧を総合的に定め、随時改訂しながら市民の生命・財産を守る地域防災の基本計画	

### 市民意識調査結果（2024）

災害が発生した時も避難や救助の面で安全・安心なように対策が取られているか？  
【問15-13満足度】



### 市民意識調査結果（2024）

防災に対する十分な備え、対策が取られているか？  
【問15-31満足度】

